

参議院契約監視委員会定例会議議事概要

開催日	平成25年10月7日(月)		
場所	参議院第二別館東棟4階 東401会議室		
出席委員氏名	委員	阿部 哲(株式会社アイセイ薬局 社外監査役)	
	委員	木下 哲(公認会計士)	
	参議院契約監視委員会設置要綱(平成20年3月6日事務総長決定)第4条第3項の規定に基づき、阿部委員が委員長職を代理した。		
審査対象期間	平成25年4月1日～平成25年7月31日		
抽出案件	4件		
一般競争入札	3件	契約件名	国会審議テレビ中継設備改修工事(13)
		契約相手方	パナソニックシステムネットワークス(株) システムソリューションズジャパンカンパニー
		契約金額	121,800,000円
		契約締結日	平成25年7月5日
	3件	契約件名	参議院議員医務室薬品購入
		契約相手方	(株)スズケン
		契約金額	7,413,000円
	3件	契約件名	普通乗用自動車(ハイブリッド車)1輛交換契約による購入
		契約相手方	東京トヨペット(株)
契約金額		10,670,935円	
随意契約	1件	契約件名	本館議員控室照明設備改修その他工事(13)
		契約相手方	三菱電機ビルテクノサービス(株) 東京支店
		契約金額	69,510,000円
		契約締結日	平成25年7月1日
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

意見・質問	回答
<p>1. 報告事項</p> <p>入札及び契約手続きの運用状況について 意見なし</p> <p>指名停止の運用状況について 意見なし</p> <p>談合状況への対応状況について 該当なし</p> <p>2. 抽出事案の審議</p> <p>A 国会審議テレビ中継設備改修工事 (13) 一般競争入札(総合評価落札方式) [工事]</p> <p>① 国会審議テレビ中継設備全体の中で順次機器を更新しているとのことだが、大枠のスケジュールはどのようなものか。</p> <p>② 各機器の改修は何年毎に行っているのか。</p> <p>B 本館議員控室照明設備改修その他工事 (13) 随意契約(不落・不調随意契約)[工事]</p>	<p>チャンネル数と同数の15の副調整室を順次更新しているところであるが、現在ハイビジョン放送6チャンネル、デジタル放送8チャンネル、アナログ放送1チャンネルと仕様が混在している状況である。将来的には全てハイビジョン化することを目指している。</p> <p>1年に2チャンネルの更新をめどとして計画を立てており、当契約に該当する工事は、アナログ放送1チャンネルをデジタル化し、デジタル放送1チャンネルをハイビジョン化するものである。</p> <p>各機器の耐用年数は、6年～8年というのが一般的な考え方であると承知している。本院では8年周期を目標としつつ、10年経過後に改修しているのが現状である。</p>

① 本事案は平成24年度に引き続き実施されている工事とのことであるが、全体の計画はどのようになっているのか。

本館の議員控室は全40室あり、そのほか正副議長室、議員会議室、事務総長室等において、経年により劣化した照明器具を平成26年度までの3か年で順次改修する事業である。

平成24年度は、主に本館3階議員控室について実施した。今年度は、主に本館2階議員控室を、平成26年度は、正副議長室及び事務総長室等を行う計画となっている。

② 一者応札、一者応募となった原因は何か。

本工事の改修場所は、国会内の執務室等の工事であり、執務に必要な環境を整えながらの工事となるため、競争参加資格要件に、同種工事の実績や同種工事の経験を有する監理技術者を専任で配置することを求めている。また、現場工事の条件として一部更新作業の休日施工を求めており、照明器具の製作を含む工事内容となっている。

入札説明書の配付業者数は6者であったが、うち5者から辞退する旨の申し出があった。

辞退理由を聞き取り調査した結果は、競争参加資格要件で求めている同種工事の実績を満たしていない、時期的に技術者の確保が困難、器具の製作を含む工事は自社では難しいとのことであった。

これらの要件及び工事内容から、一者応募に至ったものと思われる。

C 参議院議員医務室薬品購入 一般競争入札（最低価格落札方式） 〔購入〕

① 平成25年度から一般競争入札へ移行した理由は何か。そのことによる効果はあったのか。

平成24年度までは業者の見積り合わせにより、品目ごとに契約を締結してきたが、調達金額が大きくなってきたこともあり、公共調達の適正化の観点から試行的に移行した。大幅に単価が下がったとは言えないが、数年かけてその効果を検証したい。

② 予定数量の設定はどのように算定したのか。

議員に応じて使用する薬品も異なってくるが、過去の実績も勘案して薬品を選定し、数量を予測している。

③ 年度途中のため、最終的な実績は現時点では不明だと思うが、来年度の予定数量の見積方法については見直しをする予定はあるか。

来年度の品目及び予定数量については、医務室の意見を聞くとともに今年度の実績の動向を見ながら柔軟に検討し、妥当な予定数量を設定できるよう努めていきたい。

D 普通乗用自動車（ハイブリッド車）1 輛
交換契約による購入
一般競争入札（総合評価落札方式）
〔購入〕

① 最低価格落札方式でなく、総合評価落札方式の理由は何か。

国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成25年2月5日変更閣議決定）により、自動車の購入契約は、購入価格及び環境性能（燃費）の両面から評価し、契約を締結すると定められているため、最低価格のみをもって落札することはできない。

② 総合評価の環境性能に対する得点が3者とも満点なのはなぜか。

環境性能に対する得点は、環境物品等の調達に関する基本方針（平成25年2月5日変更閣議決定）の判断の基準に適合していれば標準点100点を付与し、さらに燃費の優劣で加算点を定めて算出している。

車高、室内空間、車幅等の仕様を満たす車種は1車種だけだったため、3者とも同車種を想定している。その結果、3者とも加算点は満点となり、実質的には入札価格の低い者が落札する結果となった。